

自然の豊かさを生かした“山根”

住みよい 明るい 安全・安心の まちづくり計画

山根地区コミュニティプラン



平成28年3月

山根自治連合会

山根地区の地域課題と現況について

- 山根地区の重要課題は、平成23年3月31日に閉校しました山根小学校跡地利用について、行政と連携をとりながら利活用の取り組みをしております。

水戸市の第6次総合計画に於いて「魅力ある交流拠点」として森林公園周辺地区は、豊かな自然環境の保全、再生活用を図るとともに、森林公園や少年自然の家を再整備し、交流人口の増加に対処するとともに、山根小学校跡地の活用に取り組み、自然の中での学び楽しめる魅力ある交流拠点の形成に努める計画となっております。山根地区に於いては、地域発展のため行政と連携して取り組み推進活動を行ってきております。一層の推進を行うことが必要です。

- 山根地区の人口推移については、次の通りとなっております。

平成21年12月1日現在、世帯数332戸、人口は男479人、女532人、計1,011人。平成27年12月1日現在、世帯数305戸、人口は男414人、女457人、計871人と6年間で140名の減少となります。

平成26年10月1日現在で人口924人、年齢別に仕分けすると次のようになります。

年少人口(0才~14才)57人(6.17%)、労働人口(15才~64才)506人(54.76%)、高齢者人口(65才以上)361人(39.07%)となります。

山根地区に於いては、核家族、少子高齢化等の要因にて人口減少をきたしていると思料されます。今後とも高齢者人口が増加となります。

- これからは福祉にも重点をおき、「住みよい 明るい 安全・安心のまちづくり」を目指した取り組みが大切です。

地域に生活している住民が地域を充分知りつくしており、地域の活性化、発展のため地域コミュニティ活動に参加することが大切です。

地域コミュニティプランとは

少子高齢化、人口減少、核家族化が進行する中でお互いを思いやり、支えあい安心して暮らせる“まちづくり”が求められています。地域においては地域ぐるみで子育てや高齢者の支援、環境問題など社会課題や、地域で抱える課題の解決に向けて、地域自ら学び実行し、よりよい地域づくりに取り組んでいかなければなりません。山根地区の“まちづくり”のプランとして『6つの柱を掲げたコミュニティプラン』を提案します。地域住民が地域づくりの主役として民主的で開かれた地域コミュニティを形成するとともに、福祉や教育をはじめとするあらゆる分野において豊かで活力ある地域づくりに向けた地域コミュニティ活動を目指します。

1 人と人が支え合う 福祉充実のまちづくり



山根地区の65歳以上人口割合は、平成26年10月1日現在で39.07%と水戸市内での高齢者比率が最も高い地区です。

高齢化社会においては、住民一人ひとりが“心のかよう向こう三軒両隣の助け合い”の心をもって、地域のふれあいに厚く“元気にいきいき”と暮らし、福祉関係機関との連携を深めながら福祉充実のまちづくりに努め、住民参加の地域福祉活動を図っていきます。

主 な
取 り 組 み

- 敬老会の開催
- ひとり暮らし高齢者への食事サービス
- 寝たきり高齢者への出前そば
- 合同研修会
- 地域福祉活動への協力
- 子どもたちとの輪投げ競技

2 スポーツ、レクリエーションで 元気、笑顔のまちづくり



スポーツ、レクリエーションを通して健康増進と世代間の親睦交流を図ります。

地域の住民みんなが一度に集う「市民運動会」「市民歩く会」等のスポーツ、レクリエーションを通じてコミュニケーションを高め、地域住民のみんなが楽しく参加し、体を動かして健康寿命を高めましょう。

これからは、だれでも楽しく参加出来るスポーツを見出し、地域住民のふれあいを図り健康と体育向上を目指していきます。

主 な
取 り 組 み

- 市民運動会の開催
- 各種球技大会の開催（ソフトボール他）
- 西部地区球技大会への参加
- 市民歩く会の実施
- 千波湖フェスティバルへの参加
- ゴルフ大会の実施



3

安心、安全のまちづくり

地域住民の生命、財産を守ることを第一に考えます。

市民センターを利用した避難所の開設や地震、火災、その他の災害を含め防災訓練および防災センターへの研修等を実施し防災意識の昂揚を図っていきます。

交通安全や防犯活動については、地区防犯連絡員がパトロール等を実施し地域の安全に努めています。



主 な
取り組み

- 年末年始消防18分団地区防災見廻実施
- 消防18分団と女性防火クラブとの連携 消防出初式参加
- 防災訓練の実施
- 女性防火クラブによる防災訓練に巻織汁けんちんの炊き出し実施
- 地区防犯パトロール実施

4

なごやかな、ふれあい豊かなまちづくり

高齢化や核家族化が進んできており、これから健康で生きがいを感じ、住民一人ひとりが生涯学習と文化活動を通し知識や技能を高め楽しく、豊かに生活することは大切です。

子どもクラブの皆さんと三世代ふれあいグランドゴルフ大会および輪投げゲーム等のコミュニケーションをとり、地域住民とのふれあいを一層図り、併せて健康的体育向上に努めます。



主 な
取り組み

- 三世代ふれあい盆踊り大会実施
- 市民センター文化祭作品出品展示
- 移動学習
- 学習発表会への参加
- 三世代ふれあいグランドゴルフ大会実施

5

花いっぱい、環境美化のまちづくり

丘陵地帯で緑が多く、自然豊かな星空のきれいな地域であり、これらの財産を生かしたまちづくりに努めます。

通年でゴミ減量、花いっぱい運動の推進、清掃活動等に努め、より良い自然の良さが出るまちづくりにより、交流人口増加に繋がります。



主 な
取り組み

- ゴミ減量、リサイクルゴミ分別の推進
- 花苗配付と花壇コンクールの実施
- 道路際ゴミの回収清掃実施
- 水戸市森林公園入口道路沿いの清掃実施
- 大通り沿いの芝焼きおよび道路沿いの草刈り実施

6 楽しくコミュニティ活動を 高めるまちづくり

山根自治連合会のコミュニティ活動が各地域の住民に理解されるには、住民の声を充分に取り入れる組織づくりや、事業に参加したくなる魅力ある行事の実施、情報を皆にわかりやすく提供し共有します。

日頃の要望、希望についてはアンケート等で対応し、住民主体のコミュニティ組織が成り立つよう地域住民が一つとなって、課題の解決に向けた行動が重要となります。

また、地区会と行政と連携しながら、山根地区発展のために協働のまちづくりを行って参ります。



主
な
取
り
組
み

- 役員会、連絡会の開催 (月1～2回)
- 会報の発行 (運営活動などの報告、2ヵ月に1回程度)
- 広報誌「やまね」の発行
- 地域内市施設との協働事業の係を図っていききたい
(水戸市森林公園、ふるさと農場、少年自然の家等)
- 山根小学校跡地の活用、行政との連携で地域及び地域交流の展開
(住民の活性化と過疎化対策を図っていききたい)
- 交通機関がない地域では、行政と連携で高齢者ら交通弱者の移動手段を確保していききたい
……デマンドタクシー 等

山根地区の歴史

日本は、明治維新にて明治4年(1871年)7月の廃藩置県により全国302県、東京、大阪、京都の3府設置となる。

明治5年、近代的学校制度に関する規定「学制」発布。

明治8年(1875年)	谷津村の谷津宗武氏宅を校舎として日進小学校開校
明治15年(1882年)	全隈小学校新築開校(全隈郷中の地)
明治22年(1889年)	4月1日市制、町村制が施行 山根村発足…木葉下、開江、成沢、全隈、谷津5部落合併
明治22年4月	山根小学校を山根尋常小学校に改名
明治23年6月	全隈郷中へ校舎増築6月14日完成 ※学校創立記念日とする
明治33年	山根村全隈一本松地へ校舎移転
昭和30年	山根村が赤塚村と合併 成沢地区は飯富村へ編入
昭和33年	赤塚村が水戸市へ吸収合併
昭和43年	明治100年を記念し、山根前沢成沢地域市有林120haを森林公園として整備に入る (平成6年に23ha取得、現在面積143ha)
昭和49年	山根中学校は赤塚中学校へ統合
昭和50年	山根中学校跡地に水戸市少年自然の家開設
昭和54年	開江地区に茨城県住宅供給公社に於いて双葉台団地完成し分譲、双葉台小中学校開校、開江地区は双葉台小中学校区へ編入
平成23年	少子化により山根小学校閉校となる(創立121年間の学校歴をもって閉校) 現在、行政と地区で連携し地域活性化も含め学校跡地の利活用を検討中

山根地区内神社案内

香取神社

鎮座地 水戸市木葉下町1
祭神 経津主命(ふつぬしのみこと)
祭祀 例祭 11月23日
春祭 3月19日

由緒沿革

大同元年(西暦806年)6月に、下総国香取神宮より御分霊を勧請し祀られた古社である。



立野神社 ▲

鹿島神社

鎮座地 水戸市全隈町字宮本255番地
祭神 武甕槌命(たけみかつちのみこと)
祭祀 例祭 11月23日
祈年祭 3月15日

由緒沿革

当社応徳三年大和國春日神社の御分霊を鎮齋。
(応徳三年(西暦1086年)第73代堀川天皇時代)
・社領 一石五斗
・[神木]杉 社宝神鹿(木製)二体

かな お やま いつく しま 金生山麓島神社

鎮座地 水戸市木葉下町(弁天池敷地内)
祭神 市杵嶋姫命(いちきしまひめのみこと)
・天照大神が素戔嗚尊(すさのおのみこと)と誓約され生じた三女神の内の一神、水神、弁才天の神。

由緒沿革

創立年間不詳なるも天明年間に相州江ノ島(相模国)より御分霊を験成して創立したという。始めは金生山弁才天と尊称して皇紀2536年(明治6年)再建。
・八月初日を祭日となし祭典を行う。
霊験あらたかなる湧水枯れたる事なし。

立野神社

鎮座地 水戸市谷津町899
(旧山根村大字谷津字立野)
祭神 級長津彦命(しなつひこのみこと)
級長津姫命(しなつひめのみこと)
祭祀 例祭(秋祭り) 11月23日
元始祭 1月3日
春祭り 4月15日

由緒沿革

大同2年9月(西暦807年)、谷津、大足、田島、牛伏、黒磯、三野輪、三力野の7カ村の鎮守として創建。

報徳二宮神社

鎮座地 水戸市全隈町字中山1416
祭神 二宮尊徳命

由緒沿革

昭和9年10月14日、前澤地区の人たちが相談して、栃木県今市に鎮座する報徳二宮神社より御分霊をお遷しし、お祀りするようになった。



香取神社 ▲



報徳二宮神社 ▲

山根地区の関係組織

- 水戸市社会福祉協議会山根支部
- 山根地区高齢者クラブ連合会
- 食生活改善推進員山根支部
- 水戸市保健推進員山根支部(水戸市山根支部保健推進員)
- 水戸地区防犯連絡員協議会 双葉台・西部分会
- 水戸市消防団第18分団
- 山根地区女性防火クラブ
- やまね子どもクラブ
- 双葉台地区青少年育成会
- JA水戸女性部山根支部

山根自治連合会は、住民と行政が一体となった協働の力で、地域の豊かな自然環境を守り、地域の生活課題を解決しながら、「住みよい 明るい 安全・安心のまちづくり」に取り組めます。